

GUATEMALA

グアテマラのマヤ民族| 1ヶ月の語学学校生活|ホームステイ

グアテマラの民族



グアテマラの民族は、

- ・マヤ系先住民 46%
- ・メスティソ（欧州と先住民の混血）か欧州系 30%
- ・その他（ガリフナ族やシンカ族など） 24%

マヤの女性は皆んなカラフルな衣装を着ていて、とても可愛いくエキゾチックです。しかしそれだけではなく、多くのマヤ系先住民はグアテマラの内戦の影響をかなり受け、現在でも経済的格が少なからず残っています。

まだグアテマラ12日目なので、マヤ文明や歴史について詳しく書けるほど理解できていません。ですがこの2年間で、少しずつでも詳しいことをお伝えできるように頑張ります！



1ヶ月の語学学校生活

グアテマラに到着したその日から、1ヶ月の語学学校とホームステイ生活が始まりました！

語学学校では先生と1対1で、毎日6時間、スペイン語を勉強しています。（午前が8時～12時、休憩が12時～14時、午後が14時～16時です。）ずっと机に座って勉強する日もあれば、午前と午後のどちらかに日本文化紹介、日本料理紹介、近くの村への小旅行などのアクティビティがある日もあります。

会話と発音矯正が中心の授業で、とても実践的です。グアテマラの政治、生活、観光、人々の話などについて、先生とディスカッションをしながらスペイン語を練習しているため、この国のことがどんどん知れて楽しいです。

この学校には先生が10人、秘書と事務担当が3人、そして校長先生がいます。皆んなとてもフレンドリーなため、担任の先生以外とも、会えばずっとおしゃべりをしています。語学学校の中にはたくさんの花や自然があり、無料コーヒーも用意されています。

休みの日も、仲良しの先生とご飯を食べに行ったり、先生の住んでいる村に遊びに行かせてもらったりしています。そんなスペイン語漬けの生活を送っていることもあり、到着12日目で現地の人と話していることを、ほぼ全て聞き取れるようになりました！話すのはまだ少し難しいですが、



マヤ民族の村に行ってみた

先週、あるマヤ民族の村に行ってきました。マヤ民族の今と昔の生活、食事、文化、結婚、仕事など、様々なことを教えてもらいました。

- マヤの手織物（写真2枚目）
子供は6歳頃から、織り方を学び始めるそうです。デザインにもよりますが、縦約1m、幅約3mの布を作るのに、6ヶ月もかかる場合もあるそうです。
- 女性は昔から、1枚目の写真のような民族衣装を着ています。ブラウスと5mの巻きスカートです。男性は民族衣装を着ると、街で職に就けなかったり、学校でいじめを受けるなど差別の対象になるため、昔からあまり着なかったそうです。今では、お祭りや結婚式の時に着るそうです。
- 食べ物は、米、トルティーヤ、チキン、スープ。飲み物は、毎食後に手でコーヒーを挽いて飲んでいます。

間違えながらも会話をするのを楽しんでいます。早く自分の気持ちを正確に話せるように頑張ります！

ホームステイ



グアテマラに着いた初日からホームステイでした！

家族は、お母さん、お父さん、おばあちゃん、18～21歳の娘3人、プードルです。この町は世界中からスペイン語留学で多くの外国人が長期滞在しているため、ホームステイには慣れていくようです。私が今いる家にも、私の他にスイスと韓国からの留学生が居ます。

娘達とお父さんは、それぞれ都合の良い時間に食事をするのですが、お母さんと私たち留学生3人は日々の話をするため、毎食決まった時間に一緒に食べています。その日の話や、お互いの国の話や、今後の話をしたり。グアテマラのことをお母さんに聞いたり。私のホームステイ先は、お母さんがとっても元気のある方なので、どんな話にもノリノリでついてきてくれます！

娘達は大学生なので、授業やサークルで忙しそうにしています。学生の多くが安全のため、バイクで登校しているということ以外は、日本の大学生とあまり変わらない印象です。放課後にオシャレして友達とご飯やカフェに行ったり、たまに夜遊びに行っているようです。また来月のニュースレターで現地の生活を詳しくお伝えします。